

相談支援専門員が相談しやすい場、技術の向上、連携しやすい環境づくりを目的とし、市内の相談支援事業所を対象に月1回の相談支援事業所連絡会を実施した。

今年度も人材育成を目的に5回スーパーバイズを行った。今年度からは外部講師と共に市内4名の主任相談支援専門員がスーパーバイズの役割を担い、相談支援専門員の支援の質の向上が、障害児者の生活の質の向上につながることを目的に開催した。

開催日	内容	参加者数（事業所数）
4月17日	令和5年度地域自立支援協議会の報告 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について	23名（14事業所）
5月15日	スーパーバイズ 講師：玉木幸則氏 事例報告：あすなろ、ねくすと、ぞうさんの足音 川西市基幹相談支援センターより4名参加	27名（13事業所）
6月19日	B型事業所と一般就労の併用について説明：びーず田村氏 地域自立支援協議会 各部会より報告	23名（14事業所）
7月17日	各事業所より情報提供と課題についての報告 地域生活支援拠点について	27名（15事業所）
8月21日	スーパーバイズ 講師：玉木幸則氏 事例報告：福祉の里、オフィスリブ、三田わくわく村	26名（14事業所）
9月18日	サポートファイルの活用について ケースや業務についての相談	23名（14事業所）
10月16日	スーパーバイズ 講師：玉木幸則氏 事例報告：ぞうさんの足音、ぽしぶる、オフィスリブ 猪名川町委託相談支援事業所より5名参加	28名（14事業所）
11月20日	座談会：相談支援専門員同士で話し合おう 「こんな時どうしてる？」	23名（14事業所）
12月18日	スーパーバイズ 講師：玉木幸則氏 事例報告：かるがも相談支援、福祉の里、WELnet さんだ	19名（11事業所）
1月15日	座談会：相談支援専門員同士で話し合おう 業務の工夫、社会資源の紹介、計画作成時のポイントなど	19名（12事業所）
2月19日	スーパーバイズ 講師：玉木幸則氏 事例報告：三田わくわく村、オフィスリブ、福祉の里 実習生2名参加	23名（13事業所）
3月19日	（予定）	

### 【成果と課題】

- ・スーパーバイズは3年目となり主任相談支援専門員が中心となって三田市でのやり方が形成されつつある。また、参加する側も事例の作成ポイントをうまく押さえられるようになり、検討がスムーズに進行できている。
- ・相談支援専門員同士で困りごとを出し合った際に、相談支援の加算についての勉強会や情報交換会をしてほしいとの要望があったため、今年度3月の相談支援専門員研修で実施する。
- ・三田市では市街地調整区域等の制限があり、障害者グループホームが少なく、そのほとんどを市外の資源に頼っているため、相談支援専門員は市外のことで情報が少ない中での調整や、見学、訪問等で非常に時間を取られてしまうという問題がある。
- ・施設や事業所が人材不足によって空室や定員割れの状態でも新規利用者を受け入れできない状態にあり、相談支援専門員も利用者の行き場がなく困っている。
- ・慢性的な人材不足の問題や緊急の受け入れ先不足については、福祉分野だけでなく三田市全体で考えていかなければいけない問題である。

- ・開催場所：総合福祉保健センター
- ・参加事業所数：17

### 【特定・障害児相談支援事業所】

あすなろ相談支援事業所、相談支援事業所「ねくすと」、三田わくわく村、WELnet さんだ相談支援センター、かるがも相談支援、三田福祉の里相談支援センター、ぽしぶる、ぞうさんの足音、オフィスリブ、ありまこうげん相談支援事業所、アイクロッソ、Unomismo

【委託相談支援事業所】障害者生活支援センター、就業支援センターびーず、精神障害者支援センター

【その他】障害福祉課

【事務局】障害者基幹相談支援センター